



議会だより



みんなで協力、大玉転がし！

千里小学校運動会

平成30年6月定例会

あらし・議案審議	2
予算審査特別委員会	4
陳情・請願・一般質問目次	6
一般質問 7人が登壇	7
委員会レポート	14
わたしたちの町(東中学校)	16



議会だより

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地

<https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

平成30年第2回6月定例会は、6月6日から6月15日まで開催されました。

町長から提出された議案は、専決処分の報告1件、平成29年度繰越明許費に係る報告1件、出資法人等に係る経営状況報告6件、専決処分の承認5件、平成30年度補正予算7件、条例の一部改正4件、工事請負契約の締結1件、財産の取得1件、自動車物損事故による損害賠償及び和解1件であり、すべて全員一致で原案のとおり承認・可決しました。

また、議長及び副議長の不信任の動議がそれぞれ提出され、無記名投票で行われ、可否同数により議長採決の結果、それぞれ否決されました。

一般質問は7人の議員により行われました。

あらまし

【審議した主な議案】

「国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

国民健康保険制度の広域化に伴い、県が目指す統一税率を見据え、平成30年度課税分から「資産割額を廃止」し、基礎課税額を「所得税額、均等割額、平等割額」の合計額から算出する方法に改める。

「国民健康保険基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例」

国民健康保険法の一部改正に伴い、都道府県に国民健康保険事業納付金を納入する制度に移行したため、基金の設置目的を「国民健康保険事業納付金の財源調整及び保健事業に要する費用に充てること」に変更するため改正を行う。

長沼一夫議長 不信任の動議

賛成6票、反対6票
同数のため議長採決で否決

提出者 佐瀬 真
賛同者 細貝 功人
瀧田 勝昭

提案理由

健全な議会を作り上げるべく、以前から出されていた議会活性化の話合いも、一向に進展しない。議会内での話し合いが空転して先に進まないことはリーダーシップの欠如である。

また、議員総意の下、慣例上2年での議長交代も、去る3月議会で辞める意思も見せなかった。その理由も述べないことは甚だ疑問と思わざるを得ない。

議会のより一層の向上を遂げるため、議会改革を速やかに進めていくためにも、直ちに議長の職を辞するよう求める。

賛成討論

【関沢 和人】

我々議員、議会の役割は町民の福利を考え、それを一生懸命なされるように努力すること、それが私たちの仕事である。

この任期中は、議会の独立性、議会構成の公平性、議事進行、議会改革という面で議長としてそぐわない点が数々ある。ここで勇退し、後進に道を譲ることが改革の第一歩と思う。

【渡辺 二公】

我が議会においては2年をもって交代するという慣行は事実上、定着していた。続けていくならば議員に説明をすべきである。

反対討論

【五十嵐 ミエ子】

議員全員で議会を良くしていかなければならない。議員全員が声を上げられる環境にすることが、まず議会改革と云っている。

【長澤 操】

議会運営等を真摯に取り組み、議員の声も聞き、対外的にも職務を全うしている。不信任案は今後の議会運営に混乱を来す要因になる。町民への影響も必ずしも良いものではない。指摘のあった点は今後反省し、改善していかなければならないが、ここは議員が一致協力し、町民の付託に応えていくことが大切である。

【佐藤 英一郎】

議会改革が進まないことが不信任の理由として上げられているが、議員個々の責務であり、自ら律しなければならぬ範疇である。また、慣行はこの場で取り上げる問題ではない。

【主な質疑】

「猪苗代駅前再整備工事請負契約の一部変更」

問 消費及び融雪用取水井戸はなぜ1基から2基へ増工したのか。

答

平成26年度時点に行った消費井戸の試験ボーリングでは十分な水量であったが、工事発注後水量が疑問視され、揚水試験を29年7月に実施したところ、当初の消費計画が達成できないことが判明した。既存の井戸も使用すれば支障がないと判断し、増工した。

問

井戸を掘ってから約3年が経過しており、発注前に揚水試験を実施すべきだったのでは。

答

当然発注する前に確認が必要であったが、予算措置もしていなかったため、そのまま発注してしまった。

問

予測不可能な、どうしても避けることが出来ない場合に変更するものである。この理由は理由にならない。

答

今後改めていただきたい。今後このようなことがないよう、十分意を用いたい。

後藤公男副議長 不信任の動議

賛成6票、反対6票
同数のため議長採決で否決

提出者 細貝 功人
賛同者 瀧田 勝昭
佐瀬 真

提案理由

議会は首長と対等の立場と地位にある。議会はいかに住民の福利を考え、住民の立場に立つて判断しなければならない。その議会活動を主宰し代表するものが議長であり、補佐するものが副議長である。これらの役職は議会構成上欠くことのできない重要な地位にある。しかし、副議長は在職任期の中で、議長とともに役職の中立性と尊厳性を保ってきたとは言えず、その補佐的役割を十分に果たしていない。直ちに副議長の職を辞するよう求める。

議長を除く13名の委員で、平成30年度補正予算7件を審査しました。

平成30年度
一般会計補正予算

【主な質疑】
歳入

《県支出金》

問 農林水産業費補助金は担い手農家等のコンバイン整備ということだが、購入も当てはまるのか。

答 購入またはリース事業のいずれかで該当する。

《財産収入》

問 貸付しているビーチクリーナーの契約内容は。

答 猪苗代湖環境保全連絡会（町と郡山市、会津若松市で構成）と契約し、ビーチクリーナー、それらを運搬するトラック一式で110万円である。契約期間は4月2日から11月30日までで、毎年度契約している。



猪苗代湖岸を清掃するビーチクリーナー

問 ビーチクリーナーを雑入から財産収入に組み替えた根拠は。

答 貸付を行った時点から雑入で整理していたが、町が取得した物品その他財産価値物を貸付等の方法により使用収益させる場合の対価として収入されるものに該当するという見解に至り、組替を行った。

一般会計
歳出

《総務費》

問 会津耶麻監査委員会を設立しなければならなかった理由は。

答 会津耶麻管内4つの町村にそれぞれ監査委員がいるが、さらなる資質の向上に向け、組織化することになった。

《民生費》

問 放課後児童対策の支援員の勤務体制見直しはなぜか。

答 人員を募集したが、なかなか集らず、8人の支援員に週20時間を越える勤務をお願いした。

問 30年度はこの形で進めるが、今後も支援員の確保は検討していかなければならない。

問 支援員の雇用年齢は65歳までか。

答 一つの規則上の区切りであるが、規定では継続も可能な部分がある。本人の了解を得ながら進めている。

《商工費》

問 戊辰150周年に関連し、母成峠戊辰戦争殉難者慰霊碑案内看板をどこに移設するのか。

答 グリーンライン入口に立っているが、車輛からは見えない状況にあるため、出来るだけ道路側に近付け設置する。



見やすい位置に移設される案内看板

《教育費》

問 司書補の兼務は解消されたのか。

答 現在小中学校併せて9校あるが、現在7名であり、解消できていない。

問 体験交流館の社会教育指導を行う資格保有者は雇用できなかったのか。

答 社会教育主事や小学校教員免許等の資格を有し、経験のある方の募集がなく、臨時職員に組み替えた。今後研修会などで資質を上げていた。

国民健康保険特別会計

歳入

問 課税方式が変更になることにより、個々で国民健康保険税が上がることはあるのか。

答 資産割課税がなくなることで、全体的に下がるような方向で税率を設定しているが、所得が多い場合は、多少上がるケースもあると思っている。

あなたの声を審議しました!!

6月定例会で審議された「請願・陳情」の結果は次のとおりです。

区分	件名 請願者・陳情者の氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
請願第1号	生活保護世帯の子ども達の大学等の進学に関する意見書の請願 I 女性会議猪苗代班 渡部えつ子	渡辺 二公	文教厚生	不採択
請願第4号	用途地域の変更を求める請願書 猪苗代地区区長会長 笹岡正人	渡辺 真一郎	経済建設	採択
陳情第1号	地区内の側溝蓋の取り付けについて 沼尻駅前区長 渡部俊幸		経済建設	採択
陳情第2号	地区内の道路舗装について 中ノ沢区長 古川泰一郎		経済建設	継続調査
陳情第3号	福島県立猪苗代高等学校の存続と充実に関する陳情書 福島県立猪苗代高等学校同窓会会長 渡部 英一 福島県立猪苗代高等学校後援会会長 堀 悟 福島県立猪苗代高等学校PTA会長 金田 孝仁 福島県立猪苗代高等学校校長 佐藤 京治		文教厚生	採択
町外からの陳情	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書 移植ツーリズムを考える会 理事 井田 敏美			机上配付

「生活保護世帯の子ども達の大学等の進学に関する意見書の陳情」

賛成討論!

【渡辺 二公】

生活保護を受けている子ども達が向学心を捨てずに頑張つて大学に行きたいという思い、これを支えるのが本請願であり、教育に大いなる理解と支援を求める。

【渡辺 真一郎】

大学入学後も経済的な理由で中退する人や就職後も奨学金の返済に困っている人もたくさんいるため賛成。

反対討論!

【金本 久美子】

請願の趣旨は理解できるが、内容が変わっていれば、新たな形で再度請願することが当然と考えるので、反対。

「福島県立猪苗代高等学校の存続と充実に関する陳情書」については、6ページをご覧ください。

請願第4号

用途地域の変更を求める請願書

付託委員会でも採択された請願が本会議で採択!

《経済建設常任委員会
不採択の理由》

実情に合った用途区域の変更も必要と思われるが、平成32年度に国土利用計画猪苗代計画及び年計画マスタープランの見直しを予定しているため、それにあわせた用途区域や農振農用地の見直しをするべきと思われる。

原案に対して賛成!

【渡辺 真一郎】

用途区域は決められてから年数が経過している。商業地域、住宅地域は現状に合った用途区域に変えるべきであり、町の発展にも支障が出るため賛成。

【五十嵐 ミエ子】

町民の要望であることから賛成。

【議案内容と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
	星野あけみ	瀧田勝昭	佐瀬 真	細貝功人	佐藤英一郎	欠 員	渡辺二公	長澤 操	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	佐藤光幸	関沢和人	後藤公男	長沼一夫	
生活保護世帯の子ども達の大学等の進学に関する意見書の請願	×	○	×	×	○	-	○	×	×	○	○	×	×	×	-	否決
用途地域の変更を求める請願書	○	○	○	○	×	-	○	×	×	○	○	×	○	×	-	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、同数の場合は議長が採決に加わる。

一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

星野 あけみ
空き家対策

渡辺 真一郎
原発事故の補償打ち切り、震災復興事業の減少と町経済の今後

瀧田 勝昭
スポーツによる地域・経済の活性化

五十嵐 ミエ子
就学援助費の入学前支給

渡辺 二公
再生可能エネルギーの対応

関沢 和人
少子化対策

佐瀬 真
猪苗代湖の観光と環境

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。
本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

～お詫びと訂正～

議会だより150号9ページ1段目の【企画財務課長】とあるのは、全て【教育総務課長】の誤りです。
お詫びして訂正いたします。

陳情第3号 福島県立猪苗代高等学校の存続と 充実に関する陳情書

陳情の要旨

福島県立猪苗代高等学校の存続のため、交通費の補助、遠征費の補助、下宿代の補助と、地元を支える高校として充実を求める。



特段の支援と存続が求められる猪苗代高校

《文教厚生常任委員会 採択の理由》

陳情書の事項は、スキー部だけではなく、すべての生徒に平等に行われることが必要と考える。
福島県立猪苗代高等学校の存在は大変重要であり、卒業生の9割を超える生徒が猪苗代町とその周辺に就職や進学を決めるなど、地域にも大きな影響を与えている。
よって引き続き存続させていくために、町が特段の支援を行っていくべきと全員一致で採択すべきものと決した。

賛成討論！

【渡辺 二公】
会津方部で特に高校の厳しい状況が明らかになり、その中でも猪苗代町のバック体制が弱いということも明らかになった。猪苗代高校の存続の力がさらに強まるよう、他の高校の支援体制に負けないような、強力な支援体制を作ってもらいたい。
【佐瀬 真】
猪苗代高校自体が福島県のスキーの要で、猪苗代町の教育の頂点。これがなくなるとすることは、経済損失、教育的損失も大きい。これを起爆剤に猪苗代高校の存続を図っていただきたい。

お悔やみ
平成30年4月28日、大橋清喜議員が逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

Q. 空き家実態調査の状況は A. 賃貸や売買、解体の意向もあるが、現状維持が多い

【質問】危険な空き家への取り組みは。
【総務課長】危険な空き家は、所有者への電話や文書、直接会って早急な安全対策を要請している。
【質問】解体、撤去の問題点は。
【総務課長】空き家を所有、管理すべき人を探しているが、調査が広範囲にわたる。
他には、解体費用がかかり、補助制度があっても実績につながらない。実効性のある対策を講じる必要があると思っている。



商工観光課のワンストップ窓口

【質問】利活用出来る空き家の取り組みは。
【商工観光課長】ホームページで情報提供をしている。不動産業者とも連携し、空き家の解消と定住促進の取り組みをしている。
【質問】移住・定住促進の空き家利用相談窓口の設置は。
【商工観光課長】商工観光課にワンストップ窓口を設置している。

Q. 戸別受信機の設置基準や条件は A. 明確なものはない



【質問】戸別受信機の設置場所。
【総務課長】公共施設や行政区長宅等である。
【質問】地区限定の防災行政無線の放送内容は。
【総務課長】断水やクマの出没など生活に密着した情報である。
【質問】聴覚障がい者等への対応は。
【総務課長】緊急速報メールやホームページでの情報提供に努めている。
【質問】町独自のメールシステムの考えは。
【総務課長】町民に対するシステムは構築していない。

【質問】新しい中学校にナイター設備を整備する考えは。
【教育総務課長】要望はあがっている。経費等総合的に考慮し、検討する。
【質問】ガーナホストタウン事業の取り組みは。
【生涯学習課長】平成28年から事業を進めている。PRイベントやパブリックビューイング、カウントダウンなどを企画している。

Q. スポーツ振興のまちづくりとは A. 心身の健康をつちかい、いきがいに満ちた町づくりである

【質問】スポーツ参加の機会を増やす取り組みは。
【生涯学習課長】各種大会の開催やスポーツ団体へ補助金を交付し、人材育成を図っている。



渡辺 真一郎

Q. 原発事故の補償打切りが町経済に与える影響対策は
A. 諸団体と連携し、強く対策に関わっていく

【質問】東電の原発事故補償打切りで累計約180億円あった賠償金がなくなるが、原発事故の悪影響は残る。経営が悪化する企業が増えないか。

【商工観光課長】賠償金がなくとも自立できる体制づくりを進める。各種の誘客事業、補助事業の継続と風評被害対策に取り組む。

【質問】本年の県の予算額減少率は都道府県で最大。昨年の人口減少数も都道府県別で一番多い。町及び建設業への影響は。

【企画財務課長】県の補助金も減るので、徹底して経費を削減する。建設業は大きな影響はない様子である。

【質問】商工業者の撤退や閉鎖の動き、税収の見込みは。

【商工観光課長】震災後26社減り、回復していない。税収は現年と同額程度が見込める。

Q. フォトコンテスト入選作品はホームページで使用できないか
A. 可能なので、積極的に活用する

【質問】見るだけで旅に行きたくなるウェブサイトのベスト100に、県内で唯一北塩原村が選ばれた。町も、関心を持たれるようなホームページ作成をすることが観光業発展に重要で、急ぐ必要があるのでは。

【商工観光課長】観光協会のアクセス数は2年前と比較し月3万件増えた。より魅力的な内容に改正していく。

【質問】国際交流協会会員の知恵を借りてはどうか。

【商工観光課長】会員の知っている町の良い部分や意見を改善に役立てる。

【質問】ホームページに企業広告を掲載しては。

【総務課長】本年9月を目途に準備を進めている。



フォトコンテストで入選した作品

Q. 借入金の借り換え見直しは
A. 現在の低金利を反映した利率のため必要ない

【質問】銀行等からの町債借入残額は。

【企画財務課長】約20億円で、起債全体の12・9%である。

【質問】借り替えは。
【企画財務課長】公的資金を繰上げ償還する際に銀行資金で借り替えた。一番安い金利で借りている。

Q. 納税組合の数は
A. 現在は27組合。ピーク時は208組合

【質問】組合数が減少した要因は。

【税務課長】組合員の高齢化や個人情報取り扱いの厳格化などによるものが考えられる。

【質問】増やすことは。

【税務課長】難しいが、組合の拡大が図られるよう支援していく。

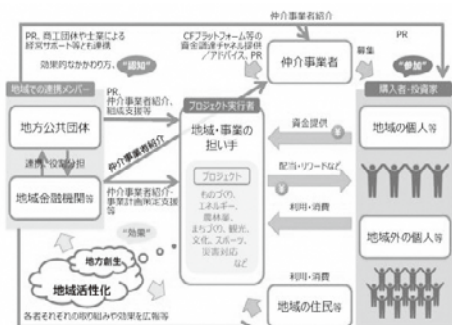
Q. ロード自転車、マラソンの実施は

A. 広域的なつながりで進めていきたい

【質問】スポーツイベントの財源対策で特定の補助金、交付金等の活用は困難である。「ふるさと納税」をスポーツに特化しては。

また、自治体と金融機関が連携して企業団体に支援する「ふるさと投資」制度の取り組みは。

【企画財務課長】使途を限定して、地域の振興につながるスポーツイベントの財源とすることはできると考える。ふるさと投資についても、今後資料収集に努め、活用ができるかどうか検討する。



ふるさと投資の仕組み

【質問】人口減少、交流人口減少のなか、既存の組織では効率性が低下する。イベント、合宿の誘致、スポーツを通じて交流促進等の地域活性化の誘客を目指す官民一体の専門組織スポーツコミッションの検討は。

【生涯学習課長】スポーツコミッションで企業が参画することはなく、今は企業協賛金という形であり、組織的な構成はまだできていない。



瀧田 勝昭

Q. 猪苗代湖ハーフマラソン中止後は
A. 別な視点で新たな大会を開催したい



猪苗代湖ハーフマラソン

【質問】なぜ猪苗代湖ハーフマラソンは終了したのか。

【生涯学習課長】昨年で7回を迎えたが、福島県の復興の礎を築き、一定の成果をあげたと考え、決定した。

【質問】復興支援の役割を果たした以外に何か理由はあるのか。

【生涯学習課長】大会に賛同した企業協賛金などの事業費で実施したが、参加人数が3000人弱と増加しないことも要因となっている。

【質問】交流人口の拡大を図ることは地域の経済活性化のため重要である。大会、合宿、研修会など、スポーツイベントの開催に関して、その必要性をどのように考えているのか。

【生涯学習課長】スポーツイベントは宿泊、食事などの経済効果や町の振興に寄与すると捉えている。昨年の空手道大会を例にすれば、選手だけでなく保護者なども来町し、町の自然や文化にも触れていた。地方の人口が減少し、経済的に疲弊していく中、町も生き残りを考える上でスポーツイベントの開催は地域経済の活性化につながるものと考えている。



五十嵐ミエ子

Q. 就学援助費、入学前の支給を
A. 平成31年4月には間に合わせたい

【質問】全国では就学援助費の支給を入学前にする自治体が増えている。必要性をどのように考えているか。

【教育総務課長】必要な時期に必要な経費を支給することは、就学援助費支給の目的から十分必要性があると考えている。

【質問】29年6月の調査では、町でも30年度から入学前の支給を検討しているとしていたが、実施しなかった理由は。

【教育総務課長】調査、確認、周知の方法など、検討事項があり、現年度は実施を見送った。

就学援助費とは？

経済的な理由により就学困難な要保護及び進要保護児童及び生徒の保護者に対し就学援助を行い、義務教育の円滑な実施に資することを目的としている。



トマト栽培をしている新規就農者

Q. 町農業経営者の高齢化は
A. 平成27年の60歳以上の割合は63%である

【質問】農業経営者総数は。

【農林課長】農業センサスでは、12年に1090人、27年に701人で、15年の間に389人減少している。認定農業者数は188人、新規就農者数は2人である。

【質問】新規就農者への支援策は。

【農林課長】国の制度を活用したサポートや、町独自の補助金などを設け、後継者の確保に努めている。

【質問】耕作放棄地の現状は。

【農林課長】21年度から23年度までの3年間において全体調査を実施したところ、3003筆、約117畝であった。

【質問】農業者の高齢化、耕作放棄地の発生、鳥獣被害など農業者を取り巻く環境は厳しい。活性化対策は。

【町長】本町では天のつづを輸出することが決定しており、新規需要米の拡大と海外市場開拓に期待している。

農家の方が安心して農業に従事出来るよう、農産物のブランド化や高付加価値化に取り組み、園芸作物の振興と地域産業の六次化を推進し、農業所得の向上と後継者の育成に取り組む。

【質問】CO2を出さない小水力発電は。

【企画財務課長】第七次振興計画に豊かな自然を活かし、再生エネルギーの活用を図るとしている。土田堰上流と姫沼下流で小水力発電の売電事業を行っている。

【質問】温泉排熱の活用は。

【企画財務課長】日本有数の湧出量をほこる中ノ沢、沼尻温泉の源泉は、非常に高温でヒートポンプ方式での余熱利用が考えられるが、権利者の同意が前提である。

【質問】住宅用太陽光発電の補助制度、過去3年間の実績は。

【企画財務課長】平成27年度9件で51万5千円、28年度9件で51万8千円、29年度2件で12万円を交付している。今後も継続して普及に努める。

【質問】利雪への研究や支援は。

【企画財務課長】毎年除雪で多額の支出があり、利雪も視野に考えると米の低温貯蔵、保存や大量の雪を集積し冷熱エネルギーとして活用等、情報の収集に努める。

Q. 旧如風庵の使用は
A. 建物の安全性が問題で使用できない

【質問】利便性も良く、町民が非常に親しみをもって利用してきた旧如風庵。使用停止の経過は。

【生涯学習課長】老朽化のため、地震や雪害に耐えることは困難との判断であり、安全を考えた。利用者には早い段階で周知、説明を行った。

Q. 蛭が生息できる環境が必要
A. 亀ヶ城公園に自然の水路に近い状態で整備



蛭が生息する亀ヶ城公園

【質問】蛭は、土の中でさなぎから成虫にふ化する。亀ヶ城公園の水路は石で固められ、蛭がさなぎになる環境に適していない。整備が必要と考えるが。

【建設課長】亀ヶ城公園内の水路は生物の生態系に影響がないよう配慮し、自然に近い状態で整備している。

現在の環境でも蛭の生息が確認できていることから、今の状況のまま生態継続の可否を見極めたい。



渡辺 二公

Q. 再生可能エネルギーの対応は
A. 持続可能な再生エネルギーの活用を図る



関沢 和人

Q. 少子化対策の考えは

A. 減少幅を可能な限り縮めていく

【質問】平成30年4月1日現在の子ども（14歳以下）の数と人口に占める割合は。

【企画財務課長】1576人で、11・1％である。前年より83人減少し、割合も0・3％少ない。

【質問】大玉村などは対策を施し子どもの数を増やしているが。

【企画財務課長】若者に魅力的なライフスタイルを広く発信するとともに、補助や支援をし、子育て世代の移住や定住に結びつく施策を推進したい。

【質問】今年度、県は妊娠、出産、子育て期を応援する相談窓口を各市町村に設置するとあったが、本町の対応は。

【保健福祉課長】4月に猪苗代町子育て世代包括支援センターを保健福祉課に設置した。母子保健や育児など、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談や支援を行う。



猪苗代町子育てアプリ「母子モ」

【質問】経済的支援や地域のつながりの中で子どもを育てる安心感を得て、合計特殊出生率を5年間で2倍にした町もある。本町もいろいろな支援を行い、安心感を提供すべきでは。

【保健福祉課長】対象の方にダイレクトメールやホームページ、広報等で周知を図る。また、子育てアプリ「母子モ」でも町の育児情報を随時更新し、情報提供していく。

【質問】町内に在住または在住を希望する若者の結婚支援は。

【企画財務課長】福島結婚子育て応援センターの利用を広く呼びかけたり、町の補助制度を利用して十分な結婚生活を送れるような支援を行う。

Q. 協働のまちづくり、新たな取り組みは
A. 旧山潟小学校に人の駅を整備した

【質問】協働のまちづくりとして、町道や生活道の材料を町が提供し、地域が施工することは。

【建設課長】町道は道路法等や基準に基づいて整備しなければならず、困難である。生活道は今後検討していく。

Q. 観光環境特区の考え方の構想は出来ないか

A. 様々な問題もあり、慎重に検討したい

【質問】ヨシの回収除去作業で回収したヨシの処分方法は。また、一般廃棄物のヨシを浜で焼けない要因は。

【企画財務課長】回収されたヨシは広域圏の施設で焼却処分している。浜でヨシを焼却できないのは、産業廃棄物処理法で原則禁止となっているためである。

【質問】稲わらと同様に植物系の処分は自治体が許可すれば焼却できると思うが、申請があった場合の対応は。

【企画財務課長】これまでの事例を調査し、法律、条令に従って対応していく。

【質問】観光の考え方に環境を付けた「観光環境」の特設という構想は出来ないか。

【企画財務課長】観光と環境が相容れない部分もあるので、慎重に検討したい。



素足で踏むと痛いヒシ殻

【質問】猪苗代湖の面積確定の際決まった県からの一般交付金のうち、半分だけでも猪苗代湖基金に出来ないか。

【町長】原点に戻って考えなければということからも難しい。なお、検討していく。

【質問】近年、ヒシの繁茂スピードが速く、その影響から浜に打ち上げられるヒシの殻が多い。湖水浴客が素足で歩けないが、対策は。

【企画財務課長】ビーチクリーナーでは除去できない。各種団体、ボランティアなどと手作業の回収作業をシーズン始めに行う努力をしたい。



期待される自伐型林業

【質問】新しい林業の取り組みとして期待されている自伐型林業の取り組みは。

【農林課長】民間団体が交付金を活用して、里山復活に向け取り組んでいる。

【質問】山際の農地での野菜栽培を、現在水田で行っているソバ栽培と耕作地を取り替えることは有害鳥獣対策になるのでは。

【農林課長】農業者の意向や年齢、農機具の問題なども考え、対策を講じていく。

【質問】環境省から里地里山保全再生計画の手引きが出され、二次林は自然型伐採で切り通しを開き有害鳥獣の対策にもなるが、現状は。

【農林課長】県の森林環境交付金の活用事業として、小中学校での森林環境学習や森林観察、学校緑化活動などを行っている。

自伐型林業とは？
採算性と環境保全を高い次元で両立する持続的森林経営である。

佐瀬 真



すずき あおい
鈴木 葵さん（東中学校）



わたしたちの町



私が思う猪苗代町の
良い所は、緑がたくさんあり自然豊かな所や
空気がきれいな所、水
がおいしい所です。ま
た、猪苗代町にはた
さんの田畑があり、お
米やいろいろな野菜を
育てることができる所
など、四季折々のよさ
を感じられる町だと思
います。春は、美しく
きれいな桜がたくさん
咲きます。夏になると
いろんな虫たちが活動
を始め私たちを楽しま
せてくれます。猪苗代

湖では、水泳や水遊び
ができます。磐梯登山
をすると、見たことも
ない植物を発見するこ
とができ、特に秋には
きれいな紅葉が見られ
ます。冬には、たくさ
んの雪が降るのでス
キー場でスキーができ
るのはもちろんのこと
と、雪遊びなど家族と
一緒に楽しく遊ぶこと
ができます。特にス
キー場には毎年県内外
からたくさんの方が遊
びに来られます。

この町には、私の知
らないことがまだまだ
たくさんあると思いま
す。これから、もっと
猪苗代の歴史や地理を
勉強して、新しいこと
を発見したいです。そ
して、この大自然を守
り続けるため、いろい
ろなことに積極的に取
り組んでいきたいと思
います。

傍聴においで下さい

**9月議会は
9月4日(火曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日：10日(月)・11日(火)】

※質問者・質問内容につ
いては9月1日以降に
町のホームページ（議
会事務局）に掲載しま
す。また各公共施設に
チラシを掲示しますの
でご覧ください。

掲 示 施 設 名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

第9回議長杯グラウンドゴルフ大会



6月22日、みんなの
広場で行われ、44名
の方が参加しました。



男子は五十嵐忠行さん
が、女子は渡部久實子さ
んが優勝しました。おめ
でとうございます。

今号の表紙

1年生から6年生まで協力して
大玉転がしがおこなわれました。
赤も白も頑張れ!!



編 集 後 記

磐梯山と猪苗代湖が織りな
す雄大な景色は、最高の被写
体として私たちの心を癒して
くれます。とはいえ、時とし
て自然の持つ力は脅威となり、
共存の難しさも教えてくれま
す。気候変動や自然災害への
備え、防災意識の向上に努め
てまいります。

さて、リニューアルした前
号発刊後に一通のお手紙をい
ただきました。「わたしたち
の町」に登場する若い皆さん
への「希望」と「期待」を寄
せる温かいお言葉とともに、
子ども議会開催のご希望があ
りました。ご発信、ありがと
うございました。

今後とも、議会傍聴をはじめ、
議会だよりに関する皆様
の声をお聞かせください。お
待ちしております。

星野 あけみ

議会広報編集特別委員会

議長	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
長沼 一夫	渡辺 二公	細貝 功人	佐瀬 真	瀧田 勝昭	星野 あけみ	佐藤 英一郎	後藤 公男